

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金	開 始 年 度	平成23年度
----------------	--------------------	------------	--------

団 体 名	特定非営利活動法人ウィメンズネット函館
-------	---------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金交付要綱
-------------------------	---------------------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害者の身の安全を守る民間シェルター（アパート等を賃借）の家賃などへの助成</li> <li>・シェルター退所後の被害者の自立支援の場となる「ステップハウス」の家賃などへの助成</li> <li>・DV被害者を対象とした就労支援等に対する経費等への助成</li> </ul>
目 的	<p>(目 的)</p> <p>シェルターへの入所からステップハウスへの入所，被害者の自立支援までの総合的な支援を目指す。</p>
・ 効 果	<p>(効 果)</p> <p>「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する法律」（以下「DV防止法」）で定められている「DV被害者の適切な保護」および「DV被害者の自立支援」を図ることが可能となり，市の責務を果たすことができる。</p>

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	寄付金	繰越金		計
		市	その他					
収	23	1,602			401			2,003
	24	2,000			504			2,504
	25	2,000			587			2,587
入	26	1,993			499			2,492
	27	2,000			568			2,568
支	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	23			2,003				2,003
出	24			2,504				2,504
	25			2,587				2,587
	26			2,492				2,492
	27			2,568				2,568

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金
----------------	--------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「DV防止法」に則った事業である。①シェルター入所件数は年間50件以上あり、市民生活の向上に貢献する事業である。②市内の相談機関におけるDV相談件数は年間4千件を超えており、市民ニーズの高い事業である。
2	必要性 (補助しなければならぬ事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安定したシェルター運営が可能となり、「DV防止法」で定められている「市の責務」を果たすことができる。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	会員の募集や寄付金の依頼に力を入れている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市が直営もしくは委託等で行うより、シェルターを運営する民間団体が行うことにより、DV被害者に対して柔軟に対応でき、経費の削減が図られる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	民間シェルターの運営には多くの人手と資金が必要であり、安定した自主財源の確保が不可欠である。自主財源の推移を見守る必要がある。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

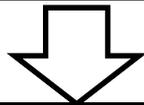
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金
----------------	--------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェルター入所件数, ステップハウス利用件数, 就労支援講座等開催回数等</li> </ul>
(達成状況)
平成27年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・シェルター入所件数 55件</li> <li>・ステップハウス利用件数 18件</li> <li>・就労支援講座実施回数 9講座 14回</li> <li>・インターシップ 2ヶ所 各6日間 計12日間</li> <li>・シェルター転居実績 なし</li> </ul>

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) ・補助割合 自主財源の確保に努めているものの, 現段階において, 安定した財源を得られていないため, 補助割合を現行のままとする。  (見直しの時期)
(廃止の理由)  (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成30年度		平成30年度